

日本での交換留学

ナポリ東洋大学
ドランナ・カステッラーナ
学籍番号: k2590020

日本に来てから、もう数ヶ月たちました。でも、今でも「本当にここで生活しているのか」と思って、びっくりすることがあります。時々昨日着いたばかりのように感じることもあれば、これまで日本にいた日々の重みを感じることもあります。



最初の頃のことをよく覚えています。すべてが新しく、ちがっていて、私は自分のバランスを見つけようとしていました。この新しい生活に慣れるために、がんばって日本のリズムを知ろうとして、自分のリズムを作ろうとしました。インターネットでしか見たことがなかった場所を本当に歩いた時は、夢がかなったようでした。時々、怖くなったり、寂しくなったりすることもありましたが、「やっとここにいる」という幸せの気持ちが一番強かったです。

この数ヶ月で、たくさんの素敵な経験をしました。足利、鎌倉、川越、横浜など、美しい場所に行きました。おいしい料理を食べたり、東京のかくれた町を見つけて好きになったり、初めて歌舞伎を見たりしました。そして、もっとチャレンジしてみようと思って、大学の茶道部にも入りました。最初はとても緊張しましたが、ルシさんという友だちに出会って、とても助かりました。茶道部の素敵な女の子たちも、私をあたたく迎えてくれて、「ここにいていいんだ」と思えました。

初めから、素晴らしい人たちに出会うことができました。リンダさんとは、来学期も一緒に過ごします。シルヴィアさんとカカトリンさんというイタリア人の友だちとも、いろいろ話したり、小さなトラブルについて笑ったりしました。エレノアさん、ダリアさん、イズィさん、イネスさんという先輩たちにもとても助けられて、心から感謝しています。映画を見たり、一緒に笑ったり、おしゃべりしたりした夜は、家族と遠く離れていることを忘れさせてくれました。そして、この数ヶ月で他にもたくさんの女の子たちと出会いました。星純さん、遙さん、ともかさんとは、これからも一緒に楽しい時間を過ごしたいです。チューターの菜乃香さんは、いつもそばにいて、丁寧に助けてくれました。本当に感謝しています。

最近は、学期末のテストが近づいてきて、勉強にたくさん時間を使いました。思うように日本語で話せなくて、イライラすることもありましたが、これも大切な経験だと思っています。

お茶の水女子大学での生活では、本当にたくさんのチャンスがあります。日本語の授業だけでなく、文化を体験するチャンスもあります。たとえば、初めて着物を着たことは、忘れられない思い出です。授業もよく準備されていて、内容もおもしろくて、日本語の勉強がもっと楽しくなりました。大変な時もありますが、頑張ろうと思えます。初日から、先生たちや国際センターのスタッフの方たちがとても親切にくださって、安心して生活できました。特に、毎月のレポートを読んでくださっている宮内先生方は、本当にありがとうございます。

この留学の経験は、私の心を少しずつ変えてくれていると感じます。今は、ちょうど留学の半分かすぎたところです。時間がとても早く過ぎていくように感じます。これからの数ヶ月で、もっと成長したいです。もっといろいろなことを学んで、新しいことにチャレンジして、いつか行ってみたいと思っていた場所にもやっと思いたいと思っています。

